# 平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月７日


上 場 会 社 名　株式会社エー・ピーカンパニー　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　3175　　ＵＲＬ　http://www.apcompany.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）米山　久
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役管理本部長　（氏名）吉野　勝己　（TEL）03(6277)8738

四半期報告書提出予定日　平成25年11月13日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## １．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

### (1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年３月期第２四半期 | 7,166 | 36.6 | 346 | 2.8 | 431 | 18.7 | 224 | △0.1 |
| 25年３月期第２四半期 | 5,245 | － | 337 | － | 363 | － | 224 | － |

（注）包括利益　26年３月期第２四半期　222百万円（△0.8%）　25年３月期第２四半期　224百万円（－%）

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年３月期第２四半期 | 30.17 | － |
| 25年３月期第２四半期 | 36.35 | － |

（注）１．当社は、平成24年３月期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年３月期第２四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
２．潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
３．当社は、平成24年６月27日付で普通株式１株につき普通株式５株、平成25年２月１日付で普通株式１株につき普通株式３株の割合で株式分割を行っております。１株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

### (2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年３月期第２四半期 | 7,984 | 2,066 | 25.9 |
| 25年３月期 | 7,444 | 1,840 | 24.7 |

（参考）自己資本　26年３月期第２四半期　2,064百万円　25年３月期　1,840百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年３月期 | － | 0.00 | － | 0.00 | 0.00 |
| 26年３月期 | － | 0.00 | | | |
| 26年３月期(予想) | | | － | 0.00 | 0.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

## ３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通　　期 | 15,787 | 38.6 | 929 | 31.8 | 1,027 | 30.9 | 605 | 40.6 | 81.50 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ：有
（注）詳細は、添付資料Ｐ．３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ：無
② ①以外の会計方針の変更 ：無
③ 会計上の見積りの変更 ：無
④ 修正再表示 ：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年３月期２Ｑ | 7,427,850株 | 25年３月期 | 7,427,850株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年３月期２Ｑ | 138株 | 25年３月期 | 138株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年３月期２Ｑ | 7,427,712株 | 25年３月期２Ｑ | 6,172,695株 |

（注）当社は、平成24年６月27日付で普通株式１株につき５株、平成25年２月１日付で普通株式１株につき３株で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ３「１．（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明（定性的情報）」をご覧ください。

○目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(1) 連結経営成績に関する説明（定性的情報）・・・・・・・・・・ 2
(2) 連結財政状態に関する説明（定性的情報）・・・・・・・・・・ 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明（定性的情報） 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・ 3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・ 3
３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(1) 四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・ 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書　・・・・・・・・・・ 8
(4) 四半期連結損益計算書関係　・・・・・・・・・・・・・・・ 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記　・・・・ 9
(6) セグメント情報等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
(7) 重要な後発事象　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明（定性的情報）

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済情勢は、金融緩和などの各種政策による経済成長への期待感から回復傾向にあります。個人消費は、消費マインドの改善に加え雇用・所得環境に持ち直しの動きがみられることから底堅く推移しております。

国内の食産業を取り巻く環境につきましては、アベノミクスへの期待から消費マインドが改善したことに加え、株価上昇に伴う資産効果や雇用・所得環境の改善を背景にした消費意欲の高まりなどから外食などのサービス消費も底堅く推移しております。

このような状況の下、当社は販売におけるサービスのさらなる充実、生産地の開拓、首都圏を中心とした新規出店を継続的に行ってまいりました。また、海外のシンガポールにおいて２店舗目を出店しました。

以上の結果、第２四半期連結累計期間における売上高は7,166百万円、営業利益は346百万円、経常利益は431百万円、四半期純利益は224百万円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①生産流通事業

生産流通事業では、「生販直結モデル」の一部として、地鶏、鮮魚、青果物などの生産及び流通事業を行っております。

「塚田農場」ブランド店舗の販売好調により、地鶏の生産量の増加及び取扱い青果物の増加傾向が続いており、生産流通事業の売上高及び利益が順調に推移する要因となっております。また鮮魚についても、漁師や漁協などの提携先が増加し、取扱い流通量が増加しております。

平成25年７月には、㈱農林漁業成長産業化機構と「エー・ピー６次産業化ファンド」を組成し、新たな事業の開始及び拡大の準備を進めております。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は1,183百万円（前年同期比31.7％増）、セグメント利益は92百万円（前年同期比16.8％増）となりました。

②販売事業

販売事業では、「生販直結モデル」の一部として、外食店舗及び中食店舗を運営しております。

「塚田農場」ブランドの店舗を中心に既存店舗の売上が好調に推移しております。

また、当四半期連結会計期間において継続して新規出店を行い直営店舗は前期末より16店舗増加し、そのうち当四半期連結会計期間において「塚田農場」を７店舗出店し、直営店舗数は113店舗となりました。新規出店は首都圏以外でも行っており、９月に名古屋地域に初出店を行い、海外においてもシンガポールに２店舗目を出店致しました。

既存店においても売上高前年比100％超で好調に推移しております。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は6,687百万円（前年同期比39.4％増）、セグメント利益は260百万円（前年同期比3.6％増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明（定性的情報）

（総資産）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は7,984百万円（前連結会計年度比540百万円の増加）となりました。これは主に販売事業における新規出店により、有形固定資産及び差入保証金が増加したことによるものです。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は2,066百万円（前連結会計年度比226百万円の増加）となりました。これは主に四半期純利益224百万円によるものです。

（自己資本比率）

当第２四半期連結会計期間末における自己資本比率は25.9％（前連結会計年度比1.1ポイント増）となりました。

（キャッシュフローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は前連結会計年度末より426百万円減少し、3,122百万円となりました。当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は414百万円となりました。これは主に税引前連結四半期純利益431百万円及び減価償却費276百万円による増加と、法人税等の支払額342百万円による減少によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は1,130百万円となりました。これは主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出942百万円と、保証金の差入による支出144百万円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間において財務活動により得られた資金は291百万円となりました。これは主に、新規出店資金の調達のための長期借入による収入970百万円と長期借入金の返済394百万円の差額によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明（定性的情報）

平成25年５月13日に公表しました平成26年３月期の通期の業績予想に変更はありません。

平成26年３月期の第２四半期累計期間の実績については、既存店売上高が前年同期比100％超を達成していることなどから、予想数値を超えて着地致しました。通期業績予想につきましては、消費税増税等に伴う景気動向により下期の販売状況が不透明なことと、販売事業の新規出店による出店経費が第３四半期以降も継続的に発生する見込のため、予想金額を据え置きとしております。

（単位：百万円）

| | 平成26年３月期<br>第２四半期実績 | 平成26年３月期<br>第２四半期予想 | 対予想<br>増減額 |
|---|---|---|---|
| 売上高 | 7,166 | 6,950 | ＋216 |
| 営業利益 | 346 | 330 | ＋16 |
| 経常利益 | 431 | 390 | ＋41 |
| 当期純利益 | 224 | 210 | ＋14 |

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## ３．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成25年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,548,409 | 3,122,019 |
| 売掛金 | 365,497 | 379,681 |
| たな卸資産 | 218,056 | 319,538 |
| 繰延税金資産 | 27,664 | 85,098 |
| その他 | 202,781 | 174,942 |
| 貸倒引当金 | △2,775 | △2,820 |
| 流動資産合計 | 4,359,633 | 4,078,460 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 2,037,122 | 2,624,846 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △605,701 | △749,403 |
| 建物及び構築物（純額） | 1,431,421 | 1,875,442 |
| 工具、器具及び備品 | 817,922 | 1,051,890 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △400,418 | △504,935 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 417,504 | 546,955 |
| リース資産 | 70,045 | 70,022 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △55,647 | △62,320 |
| リース資産（純額） | 14,397 | 7,702 |
| その他 | 245,502 | 310,157 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △75,090 | △94,880 |
| その他（純額） | 170,412 | 215,277 |
| 有形固定資産合計 | 2,033,735 | 2,645,377 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 6,895 | 6,403 |
| ソフトウエア | 9,544 | 9,609 |
| その他 | 941 | 1,683 |
| 無形固定資産合計 | 17,382 | 17,696 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 920,063 | 1,058,173 |
| 長期前払費用 | 105,029 | 111,204 |
| 繰延税金資産 | 1,305 | 52,842 |
| その他 | 12,260 | 26,731 |
| 貸倒引当金 | △4,693 | △5,515 |
| 投資その他の資産合計 | 1,033,965 | 1,243,438 |
| 固定資産合計 | 3,085,082 | 3,906,512 |
| 資産合計 | 7,444,716 | 7,984,972 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成25年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 479,089 | 510,156 |
| 短期借入金 | 168,980 | － |
| 1年内償還予定の社債 | 217,000 | 217,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 698,399 | 843,252 |
| リース債務 | 10,928 | 5,887 |
| 未払金 | 160,672 | 107,203 |
| 未払費用 | 535,616 | 609,122 |
| 未払法人税等 | 249,016 | 201,985 |
| その他 | 262,660 | 253,903 |
| 流動負債合計 | 2,782,363 | 2,748,511 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 698,500 | 590,000 |
| 長期借入金 | 1,930,445 | 2,360,610 |
| リース債務 | 3,846 | 1,788 |
| 繰延税金負債 | 1,360 | 1,360 |
| その他 | 187,251 | 215,736 |
| 固定負債合計 | 2,821,404 | 3,169,495 |
| 負債合計 | 5,603,767 | 5,918,006 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 495,517 | 495,517 |
| 資本剰余金 | 475,517 | 475,517 |
| 利益剰余金 | 870,510 | 1,094,603 |
| 自己株式 | △198 | △198 |
| 株主資本合計 | 1,841,348 | 2,065,441 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | △399 | △1,309 |
| その他の包括利益累計額合計 | △399 | △1,309 |
| 新株予約権 | － | 2,806 |
| 少数株主持分 | － | 28 |
| 純資産合計 | 1,840,948 | 2,066,965 |
| 負債純資産合計 | 7,444,716 | 7,984,972 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第２四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第２四半期連結累計期間<br>(自 平成24年４月１日<br>至 平成24年９月30日) | 当第２四半期連結累計期間<br>(自 平成25年４月１日<br>至 平成25年９月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 5,245,209 | 7,166,485 |
| 売上原価 | 1,667,275 | 2,235,447 |
| 売上総利益 | 3,577,934 | 4,931,038 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,240,930 | 4,584,552 |
| 営業利益 | 337,003 | 346,486 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 174 | 394 |
| 協賛金収入 | 56,514 | 85,472 |
| 受取補償金 | ― | 32,827 |
| その他 | 11,806 | 9,494 |
| 営業外収益合計 | 68,495 | 128,189 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 23,961 | 31,367 |
| 新株発行費 | 10,373 | ― |
| 社債発行費 | 4,479 | ― |
| その他 | 3,067 | 11,759 |
| 営業外費用合計 | 41,881 | 43,126 |
| 経常利益 | 363,617 | 431,549 |
| 特別利益 | | |
| 負ののれん発生益 | 10,644 | ― |
| 特別利益合計 | 10,644 | ― |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 131 | ― |
| 特別損失合計 | 131 | ― |
| 税金等調整前四半期純利益 | 374,130 | 431,549 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 146,788 | 186,131 |
| 過年度法人税等 | ― | ※ 130,981 |
| 法人税等調整額 | 2,986 | △108,972 |
| 法人税等合計 | 149,775 | 208,141 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 224,355 | 223,407 |
| 少数株主損失（△） | ― | △685 |
| 四半期純利益 | 224,355 | 224,093 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自 平成24年４月１日<br>至 平成24年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自 平成25年４月１日<br>至 平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 224,355 | 223,407 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | △79 | △910 |
| その他の包括利益合計 | △79 | △910 |
| 四半期包括利益 | 224,276 | 222,497 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 224,276 | 223,182 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | － | △685 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自 平成24年４月１日<br>至 平成24年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自 平成25年４月１日<br>至 平成25年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 374,130 | 431,549 |
| 減価償却費 | 200,496 | 276,433 |
| 長期前払費用償却額 | 16,992 | 23,214 |
| 負ののれん発生益 | △10,644 | － |
| 支払利息 | 21,052 | 31,367 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 51,475 | △14,183 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △29,846 | △101,482 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △4,046 | 31,066 |
| 未払金の増減額（△は減少） | △34,133 | 2,220 |
| 未払費用の増減額（△は減少） | 32,025 | 74,484 |
| その他 | 13,326 | 35,701 |
| 小計 | 630,829 | 790,369 |
| 利息及び配当金の受取額 | 174 | 394 |
| 利息の支払額 | △23,705 | △33,915 |
| 法人税等の支払額 | △180,831 | △342,763 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 426,465 | 414,085 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △366,450 | △942,143 |
| 子会社株式の取得による支出 | △1,000 | － |
| 長期前払費用の取得による支出 | △19,762 | △30,796 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △141,722 | △144,049 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 46,316 | 2,687 |
| その他 | △1,559 | △16,554 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △484,178 | △1,130,857 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の返済による支出 | － | △168,980 |
| 長期借入れによる収入 | 479,000 | 970,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △214,609 | △394,982 |
| 社債の発行による収入 | 97,740 | － |
| 社債の償還による支出 | △75,500 | △108,500 |
| 株式の発行による収入 | 746,326 | － |
| 少数株主からの払込みによる収入 | － | 714 |
| その他 | △10,165 | △7,003 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,022,792 | 291,248 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △79 | △866 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 965,000 | △426,389 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,766,115 | 3,548,409 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,731,115 | 3,122,019 |

(4) 四半期連結損益計算書関係

当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

※　過年度法人税等

当社は、法人税等の税務調査により主に飲料メーカーからの協賛金収入の計上方法についての指摘を受け、平成20年３月期から平成24年３月期までの課税年度の更正決定通知を受領し、あわせて平成25年３月期も同様の指摘を反映した修正申告を提出した結果、過年度法人税等130,981千円を計上しております。

なお、税務当局からの指摘につきましては、見解の相違に起因するものであります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | 調整額（注）１ | 四半期連結財務諸表計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|
| | 生産流通事業 | 販売事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 459,643 | 4,785,565 | 5,245,209 | － | 5,245,209 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 439,353 | 10,200 | 449,553 | △449,553 | － |
| 計 | 898,997 | 4,795,765 | 5,694,762 | △449,553 | 5,245,209 |
| セグメント利益 | 79,354 | 251,701 | 331,056 | 5,947 | 337,003 |

（注）１　セグメント利益の調整額は、連結上ののれんの償却額△492千円及びたな卸資産の調整額6,440千円であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | 調整額（注）１ | 四半期連結財務諸表計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|
| | 生産流通事業 | 販売事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 489,284 | 6,677,201 | 7,166,485 | － | 7,166,485 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 694,442 | 10,200 | 704,642 | △704,642 | － |
| 計 | 1,183,726 | 6,687,401 | 7,871,128 | △704,642 | 7,166,485 |
| セグメント利益 | 92,646 | 260,734 | 353,381 | △6,894 | 346,486 |

（注）１　セグメント利益の調整額は、連結上ののれんの償却額△492千円及びたな卸資産の調整額△6,402千円であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(7) 重要な後発事象

当社は、平成25年10月４日開催の取締役会において、下記のとおり新工場の建設を決議いたしました。

① 設備投資の目的

今後の鹿児島県における事業拡大のため、並行して地頭鶏の増産体制構築のため、子会社の㈱カゴシマバンズにおいて、鹿児島県霧島市との間で立地協定書を締結の上、同市内に黒さつま鶏の飼養から２次加工までを行う新工場を建設し、生産体制を増強いたします。

② 設備投資の内容

| | |
|---|---|
| 所在地 | ：鹿児島県霧島市 |
| 名称 | ：霧島加工センター（仮称） |
| 投資金額 | ：約100,000千円 |

③ 設備導入時期

| | |
|---|---|
| 着工予定 | ：平成25年11月 |
| 竣工予定 | ：平成26年３月 |

④ 今後の見通し

新工場の稼働開始時期は平成26年３月からの予定ですので、当期（平成26年３月期）の損益への影響は軽微であります。